

県民総合スポーツ祭で串間市選手団が健闘

6月9・10日をメインに県内各地でみやぎき県民総合スポーツ祭が開催されました。6月1日には大会に先立ち、串間市選手団結団式が行われ、選手たちが健闘を誓いました。串間市からは19競技31種目に380人の役員・選手団が参加、陸上競技やフライングディスク競技などで個人優勝するなど、選手団の活躍が光りました。



結団式ではバレーボール競技男子1部の武田佳太選手が選手宣誓。



My Town Topics

まちの話題

市内の話題や出来事などを写真を交えて紹介します。

Scene 6

水道週間に水飲み場寄贈



5月29日、串間市管工事協同組合青年部（池島健一部長・7人）が笠祇小学校に水飲み場を設置・寄贈しました。この取り組みは、毎年6月に実施している水道週間の一環で、今年で10基目の寄贈となりました。設置にかかる資材は部員の皆さんがすべて負担。レンガやビー玉などで飾りつけられた水飲み場に児童は「かわいい。大切に使いたい」と話していました。



INTERVIEW

すごく可愛い

笠祇小学校 6年生
野辺美玖さん

ハートの踏み台や動物型の蛇口があってとっても可愛いです。短い時間で出来上がったので、作った人たちはすごいと思います。出てきた水も冷たくておいしかったです。運動した後はみんなで取り合いになってけんかしてしまいそうです。

Scene 5

人権について学びました



5月28日、総合保健福祉センターで串間市人権啓発推進協議会主催の講演会がありました。フリーパーソナリティーの松本久美子さんが『傷つける言葉、勇気づける言葉』と題して講演しました。自身のアナウンサー時代に上司の言葉に傷つけられたエピソードや、自分の発言で人を傷つけてしまった経験を紹介。「何か一つ、自分の心の糧になる言葉を持ってほしい」と呼びかけました。



INTERVIEW

良いきっかけ

福島地区・鍛冶屋
河野恒子さん
本城地区・仲
森永和子さん

講演会にはよく参加します。講師1人1人の意見が違うので、何か一つでも吸収できたらと思っています。今回は自分の言葉に気を付ける良い機会になりました。たった一言で相手を傷つけることもあるのだと改めて実感した講演会でした。

Scene 4

津波に備えて避難訓練を



5月27日、石波地区で津波防災訓練が実施されました。10メートルの津波を想定して行われ、4カ所の高台に住民およそ120人が集まりました。講習会では消防本部が「大災害時には地域の皆さんで助け合うことが必要です」と説明。洋服を使った応急タンカの作り方などを学びました。避難が完了した家庭は赤い避難旗を門に掲げるなど、実践的な訓練でした。



INTERVIEW

大津波の怖さ

市木小学校 5年生
東濱佳奈さん

津波のニュースはすごく怖かったです。毎日寝る前に、いつでも避難できるように荷物を準備しています。市木小は海が近いので、友だちとも逃げる場所の話をしつづけます。津波が来たら、真剣に走って避難しないとイケないと思いました。

Scene 3

串間市を駆け抜けました



5月27日、第1回ツール・ド・にちなん・くしまが行われました。県内外の小学生から70歳代までの355人が参加。日南市と串間市を結ぶ3コースをカラフルな自転車が駆け抜けました。沿道からは多くの声援。休憩所では地元食材を使った料理。選手からは、串間市の『おもてなし』に満足したという声が多く聞かれました。市民総出で盛り上げた1日でした。



INTERVIEW

最高のコース

宮崎市
有馬逸さんと
チームの皆さん

宮崎市からチームで参加。県外の大会にもみんな出場しています。起伏に富んで、とても魅力的なコースで満足しています。都井岬は絶景ですが、走行中はゆっくり楽しむ余裕がなかったですね（笑）。南郷までの風景は楽しみたいです。

Scene 2

おいしいお茶の楽しみ方



5月25日、串間市茶業振興会が、福島小学校でおいしいお茶の入れ方教室を開きました。川島道広会長が新茶を贈呈し「ペットボトルとは違うお茶の味を知って欲しい」とあいさつ。児童は市職員や振興会から串間のお茶についての説明に興味深く聞いていました。その後児童は、グループに分かれてアドバイスを受けながら、慣れない手つきでお茶を入れていました。



INTERVIEW

甘かったです

福島小学校 5年生
山下純佳さん

お茶は家でもよく飲みます。おじいちゃんとおしゃべりしながら飲むことが多いです。今日は友だちに入れてもらって、家で飲むのと同じくらいおいしかったです。最初は苦かったけど、後からは甘みが出てきたのが面白かったです。

Scene 1

九州の若手窯元がずらり



5月25日から27日にかけて、旧吉松家住宅で第5回九州窯元行列が行われました。今回は仲町商店街での「夜市」も開催され、3日間で約3,000人が訪れました。窯元からは「こういう場所での市はめったになく雰囲気がすごく良い。座ってお話をされるお客さんも多くて楽しい」という声も。多くの人々が畳の上での窯元や陶器との出会いを楽しんでいました。



INTERVIEW

雰囲気が最高

静岡市
清水美智代さん
日南市
本田チエさん

50年来のペンフレンドです。静岡と宮崎で、会うのは2回目。都井岬なども見えました。陶器市にはよく行きますが、重要文化財での陶器市はとても珍しいですね。建物の雰囲気が陶器とすごく合っていて、見ているだけで楽しかったです。